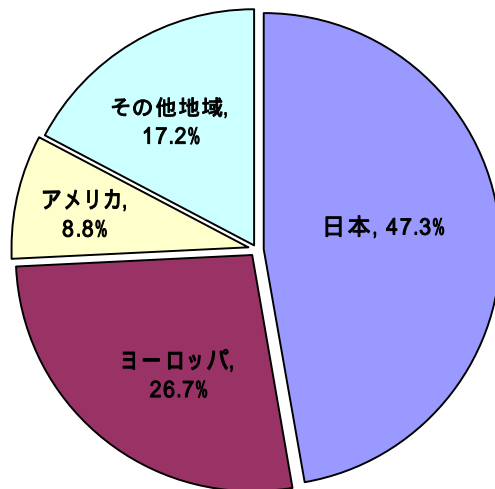


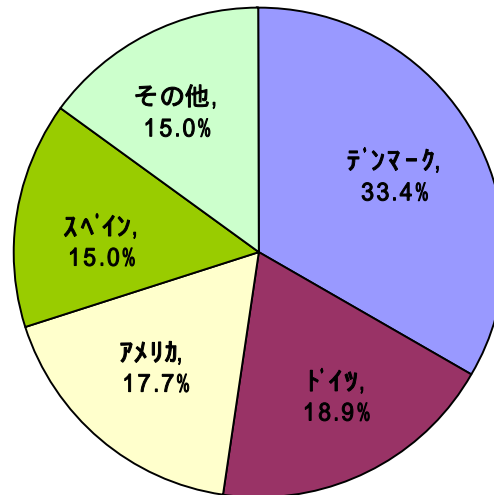
## 世界の環境関連市場における優位性の確保

- 例えば、自動車や太陽光発電については、適切な対策が国内での技術開発を刺激し、わが国の企業は世界でトップレベルの技術力を誇ることとなる一方、風力発電はデンマークがいち早く国を挙げての開発・販売に取り組み、デンマーク企業が世界市場の3割のシェアを確保しています。

太陽光発電パネルの  
国別生産シェア(2005年)



風力発電機のサプライヤー  
国別シェア(2005年)



- 今後、我が国やアジアでの環境に関わる市場規模の増大が予測される中で、環境制約への対応や環境分野の研究・技術開発に対する戦略的な投資を通じて、世界の環境関連市場において我が国が優位性を発揮することができる可能性もあります。

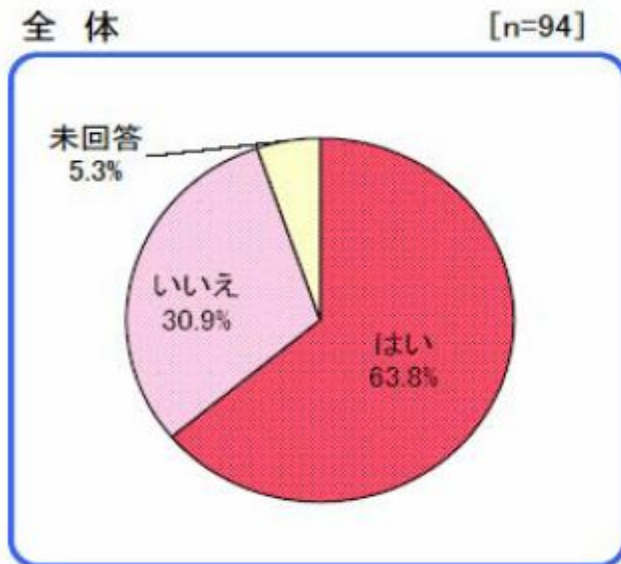
出典: PV Energy Systems, Inc. "PV News"

出典: BTM Consult ApS, "World Market Update 2005"

## 環境配慮型の投資の志向

- 環境配慮の志向による変革は、ライフスタイルだけにとどまらず、環境関連の市場やこれに資金を供給する金融市場システムにも影響を及ぼすものと考えられます。
- 近年、環境保全意識の高まりを背景に、企業の利益や収益性といった財務指標に加え、企業の環境保全などの社会的取組を金融面から積極的に評価しようとする社会的責任投資（SRI: Socially Responsible Investment）の考え方が注目されています。日本のSRI投資信託資産残高は平成18年3月末現在で約2,600億円となっており、今後ますます拡大していくものと期待されます。

質問：今後、日本でSRIは普及すると思いますか？



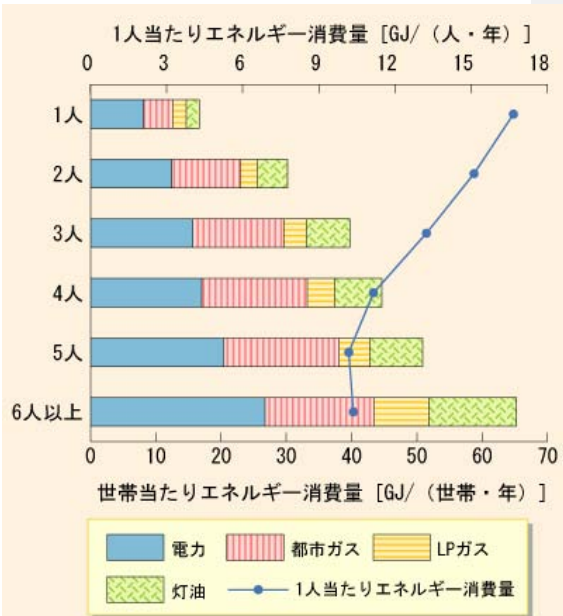
アナリスト・ファンドマネージャー（94人）に対して実施した社会的責任投資アンケート結果

出典：大和インベスター・リレーションズ株式会社  
「社会的責任投資（SRI）の日本企業への影響」の調査結果  
（2006年1月実施）

# 日常生活に伴う環境負荷

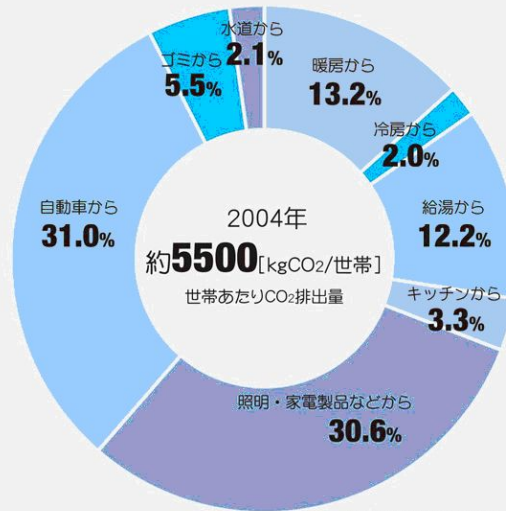
- 世帯を構成する人数が少ないほど、1人当たりのエネルギー消費量は増加するとの報告があります。今後、高齢者世帯で定年退職等に伴って在宅時間が長くなり、家電製品等の使用時間が増加することが推測されており、高齢化が進むことによっても家庭のエネルギー消費量が増加する可能性があります。
- 家庭ごみについても、世帯の構成人数が少なくなるほど1人当たりの家庭ごみの排出量は増加する傾向にあります。

世帯人数別1人当たりエネルギー消費量



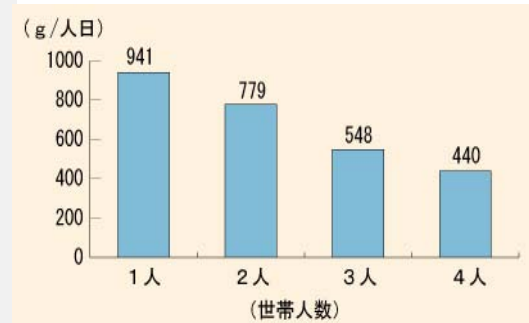
出典：日本建築学会資料より環境省作成

家庭からの二酸化炭素排出量  
—用途別内訳—



出典：温室効果ガスインベントリオフィス

世帯人数別1人当たり家庭ごみ排出量  
(2003年 川崎市)



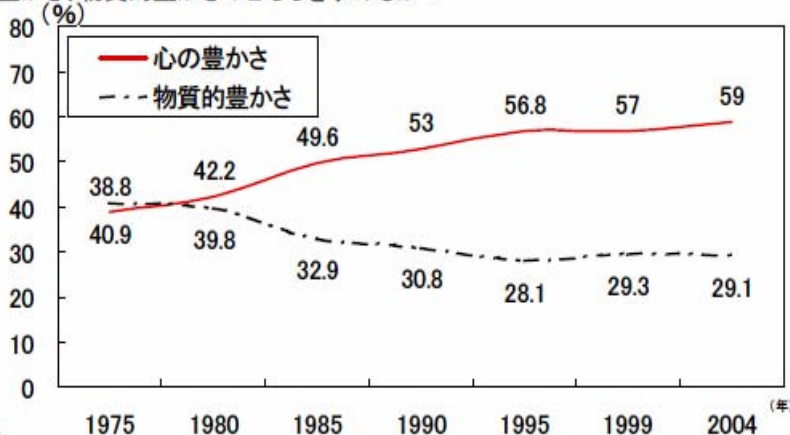
注：家庭ごみとは、普通ごみ、資源ごみ(分別ごみ)、市民団体等回収ごみをいう。

出典：川崎市役所「平成15年度市民ごみ排出実態調査」より環境省作成

# 心の満足度を高めるライフスタイル

- 自然とのふれあい志向、脱物質(精神的な豊かさ)志向の高まり、LOHAS (Lifestyles Of Health And Sustainability: 健康と環境面を中心とした持続可能性を重視した生活スタイル)といわれるようなライフスタイルの広まりなど、人々の志向が変化してきています。
- このような変化は、持続可能な社会へ向けてのプラスの契機ととらえることができます。

心の豊かさ、物質的豊かさのどちらを求めるか?



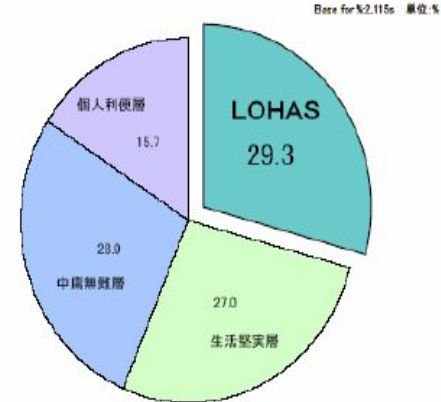
備考:

- 心の豊かさ: 物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい。
- 物の豊かさ: まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい。

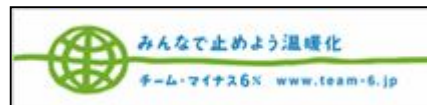
(出典)内閣府「国民生活に関する世論調査」より作成

LOHAS層の割合: 日本人の29%はLOHAS層

■日米合同LOHAS消費者調査 調査概要  
 ・調査手法: インターネット調査  
 ・調査対象: 20~69歳男女  
 ・調査時期: 2005年2月  
 ・サンプル数: 2,115  
 ・調査エリア: 全国  
 ※回収は日本の性別年代別の人口構成比に準じている



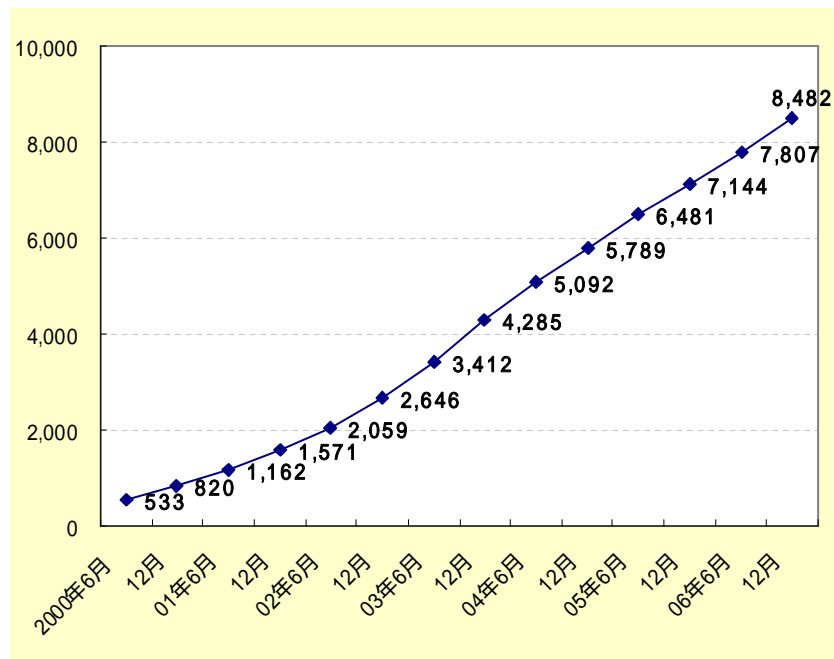
- LOHAS ... 環境と健康に関心が深く実際の行動に移す。社会的課題全般に対して意識が高い。自己啓発、精神性の向上に関心が高い。
- 生活堅実層 ... コストパフォーマンスを重視する。環境・健康関心は高いものの、実際の行動にまではいたらない。
- 中層無難層 ... 特に突出した意見、価値観を持たない。環境・健康関心は全体に比べて低い。
- 個人利便層 ... 利便性の高いものを好む。環境・健康に対してほとんど関心を示さない。



(出典) (株) イースクエア「日米合同LOHAS消費者調査2005」

## 活発化するNGOの活動

環境保全活動に取り組むNPO法人  
(特定非営利活動法人)数



注：特定非営利活動法人の定款に「環境の保全を図る活動」を活動分野として記載している法人数。一つの法人が複数の活動分野の活動を行う場合がある。

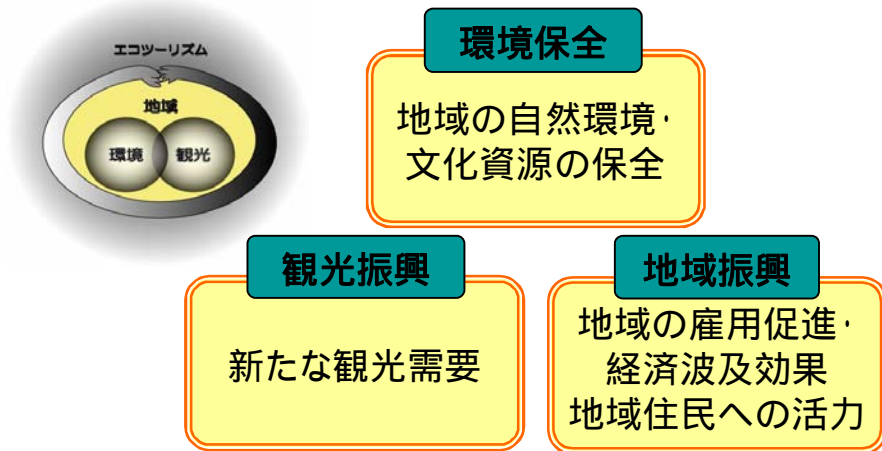
出典：内閣府「特定非営利活動法人の活動分野について」より環境省作成

- 今日、全国各地において市民が集まって環境保全に関するさまざまな活動が行われており、こうした市民の集まり（市民団体）が果たしている役割はますます大きなものとなっています。
- また、環境保全活動に取り組む市民団体の中には、専門性を生かしてさまざまな提案や提言を行っている団体もあります。

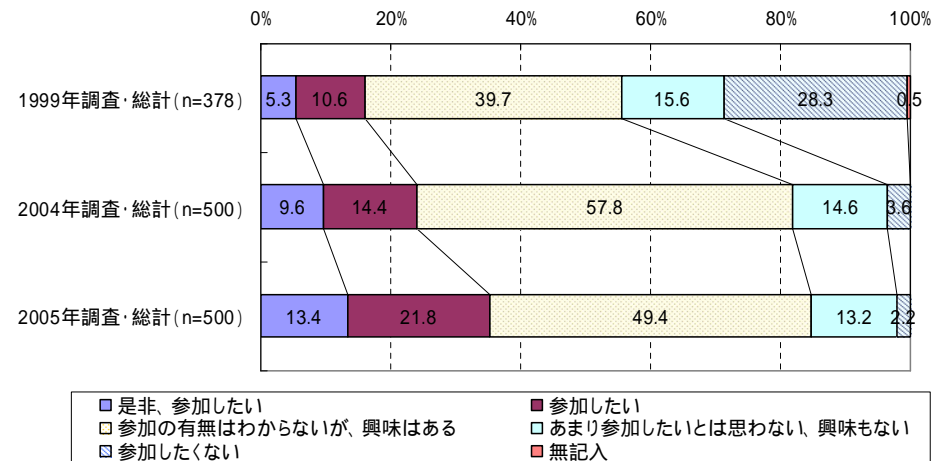


# エコツーリズムの広がり

- 地域の自然環境や歴史文化を対象とし、それらを保全しつつ、体験し学ぶという新たな観光のスタイルである「エコツーリズム」が各地で定着しつつあります。
- エコツーリズムは、ガイドや宿泊関連などの地域経済波及効果や、住民が地域に誇りを持つこと等による地域振興につながります。



エコツアーの参加意向



出典：旅行者動向2006（財）日本交通公社



## 激甚な公害克服の経験とノウハウ

- 我が国は、高度経済成長期の経済発展優先の社会背景の中、深刻な公害問題を経験しました。
- 他国に例をみない我が国の経験によって得られた貴重な教訓を国際社会、特に途上国での公害対策や公害の未然防止に還元していくことが日本の責務です。

かつての大気汚染、水質汚濁



(提供:PANA通信社)

# 団塊の世代の豊富な知識と経験

- 環境問題や環境対策に豊富な知識や経験を持ち、意欲溢れる団塊の世代は、国内外の現場や地域の草の根の環境保全活動のリーダーとなりうる人材の宝庫です。

## 環境教育と里山の環境保全のボランティア活動



「木こりの会」による炭焼き

岡山県津山市提供



専門家による技術指導の様子(フィリピン)

北九州市提供

## 開発途上国への技術移転

北九州市では、公害対策で培った技術や経験を、公害問題に直面する中国、インドネシア等の開発途上国の環境保全に役立てるため、公害対策に係る実績と経験を有する企業OB技術者を中心とした北九州環境国際人材バンク(EARTH)を設置し、人材の情報把握や国際協力に関するセミナー等を行い、国際協力専門家の能力向上を図っています。

## 地域環境保全の取組



川の再生

NPO法人グラウンドワーク三島提供

## 次世代への環境技術の継承

退職した技術者が中心となって、平成12年に(社)化学工業会に設立されたSCE・Net(シニア・ケミカル・エンジニアズ・ネットワーク)では、退職したベテラン技術者を経験別にデータベース化し、企業等の現場から寄せられた排水処理技術やISO9002やISO14001の取得に関する課題に対して指導・助言を行っています。